

同 意 書

私は下記の調査協力を行うにあたり、調査者担当者から別紙説明書記載の事項について説明を受け、これを十分理解しましたので、調査に協力することに同意いたします。

(説明事項)

1. 精神科訪問看護に関するインタビューを受けること
2. インタビュー調査を受けることに同意した後でも、自由に取りやめることが可能であること
3. プライバシーの保護、秘密保持について
 - 1) 調査内容の録音を承諾した場合、その録音データは無記名で取り扱われる。
 - 2) 調査データは、聖路加看護大学精神看護学および東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野において、共同研究者のみが取り扱うこととし、分析終了後は文書裁断、音声消去などの方法で処分される。その他の場所へは一切持ち出されない。
 - 3) インタビューデータなど、質的なデータをそのまま論文中に掲載することが望ましい場合には、状況から個人が特定されないよう一部改変するなどの配慮がされる。希望した場合には、該当部分について、プライバシーが保持されているか確認できる。

記

研究課題名： 「精神科訪問看護の援助内容に関する研究」

主任研究者： 聖路加看護大学 萱間 真美

平成 年 月 日

研究協力者氏名 _____

質問項目一覧

インタビューさせて頂きたい項目は以下の通りです。

統合失調症を有する方への訪問（ここ一週間以内）について、1,2ケースお聞かせ下さい。

精神科訪問看護で実際に行われたことを中心に伺いたいと思っております。

行為の評価を問うものではありません。

○そのケースの訪問に行く前にどのような準備をしましたか？

○訪問時、ケースのお宅で実施した行動・会話について順を追って具体的にお教え下さい。

○訪問の後、ケースについての記録・連絡・調整などをしましたか？

○後日、ケースに関して追加の連絡・調整などをしましたか？

訪問経時記録（1ケースについて）

〈訪問当日〉

出勤

訪問前

訪問

訪問中（訪問時間 分）

退室

訪問後

退勤

〈後日〉

インタビュー当日

〈備考〉

「精神科訪問看護の援助内容」に関するインタビュー調査

インタビューのための調査票

■利用者

性別 (男・女) 年代 ()歳代
 合併症(統合失調症以外の診断)の有無 なし・あり ()
 訪問開始からの年数 ()年
 訪問頻度 ()回/月
 居住形態 (自宅・グループホーム・その他)
 同居者の有無 なし・あり ()
 ※グループホームの場合は自室での同居者について
 今回の滞在時間 ()分 片道に要する時間 ()分
 訪問同行者の有無 なし・あり ()

■訪問看護師

性別 (男・女) 年代 ()歳代
 訪問看護経験年数 ()年 うち精神科訪問看護経験年数 ()年
 臨床経験年数 ()年 精神科臨床経験年数 ()年
 免許(看護師免許に加えて持っている場合) (精神保健福祉士・保健師・なし・その他)
 週あたりの勤務日数 ()日/週
 週あたりの訪問件数 ()件/週 うち精神科訪問看護のみ()件/週

■施設

訪問看護部門のスタッフ構成(管理者含む) 月当たり訪問件数 ()件/月
 看護師 ()名 登録者数 ()名
 PSW ()名
 PT ()名
 OT ()名
 その他()()名

■備考

(地域の特異性、移動距離の長さなど、上記項目以外で必要と思われる情報)

〔付録 2〕

平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金
医療技術評価総合研究事業
精神科看護における介入技術の明確化および評価に関する研究
—精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務—

記録用紙調査に用いた調査票・文書一式

付録 2 - 1. 記録用紙調査依頼書

付録 2 - 2. 記録用紙一覧

付録 2 - 3. 施設調査票

付録 2 - 1 : 記録用紙調査依頼書

（施設名）訪問看護ステーション _____（代表者名） _____ 様

「記録用紙に基づいた精神科訪問看護ケア内容の抽出」に関する調査 ご協力をお願い

主任研究者 聖路加看護大学 精神看護学教授 萱間 真美

私どもは、精神疾患を有する方が地域で暮らせるようサポートをする、精神科訪問看護の内容と効果を明らかにする研究を行っております。このたび、各施設で使用されている看護記録をもとに、精神科訪問看護師の視点やケア内容を抽出することを目的とした調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではありますが、記録用紙調査、施設概要調査にご理解・ご協力いただけますようお願い申し上げます。以下に、内容を簡単にご説明いたしますので、ご同意いただける場合は、返信用封筒でご返送いただきますようお願い申し上げます。

1. 調査の概要

- (1) 背景：昨年度までの調査で、精神科訪問看護の利用は統合失調症患者の入院期間を減少させること、入院に比べてコストも抑えることができることが明らかとなりました。しかし、実際にどのような訪問看護ケアが行われているのかについては、明らかにされていません。
- (2) 目的：日々のケアが記録・評価される訪問看護記録や看護計画は、各施設で実施されるケアを記録・評価しやすい様式が工夫されていると考えられ、すなわち各施設でのケアの内容を反映したものであると推測されます。そこで、本研究では、記録用紙をもとに、精神科訪問看護で提供されているケアの視点や内容を明らかにすることを目的とします。
- (3) 対象：精神科訪問看護を提供している施設
- (4) 方法：貴施設で使用されている、別紙一覧の記録様式をご送付いただきます。利用者様の情報が書かれていないものをお願いいたします。また、記録を分析する際に必要となる、施設の基礎情報（同封の施設票をご覧ください）をご記入いただきたく存じます。ご送付いただいた施設については、研究に同意していただいたものとさせていただきます。
- (5) 調査期間：平成 17 年●月

2. 調査実施にあたって

(1)分析結果に関し、平成17年11月頃に、内容の妥当性の確認のため、ご報告させていただく予定です。

(2)本調査は、厚生労働科学研究「精神科看護における介入技術の明確化及び評価に関する研究—精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務—」の調査研究の一つとしてご協力の依頼をさせていただいており、調査結果につきましては、研究者の論文執筆および専門誌投稿、学会発表を行う予定です。記録用紙、施設調査票とも、施設名が特定されないよう、IDを振り、厳重に管理いたします。

以上の内容をご理解の上、調査にご協力頂けますようお願い申し上げます。なお、ご不明な点などございましたら、いつでも下記連絡先までご連絡下さい。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

<連絡先：研究事務局>

聖路加看護大学 精神看護学

教授 萱間真美

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL&FAX：03-××××-××××（担当：○）

E-mail : ××@[slcn.ac.jp](mailto:××@slcn.ac.jp)（担当：○）

付録 2 - 2 : 記録用紙一覧

I ご同封いただきたい書類(例)

- ・ 訪問看護指示書
- ・ 訪問看護依頼用紙
- ・ 訪問看護計画書
- ・ 訪問看護記録書 I, II
- ・ 訪問看護報告書
- ・ 訪問看護情報提供書・サマリー
- ・ 訪問看護ケース概要・データベース用紙
- ・ 訪問看護指導評価記録
- ・ ケア計画アセスメント表
- ・ 利用者向けの訪問看護説明用紙
- ・ その他各施設でケアを記録・評価するために利用している用紙

II 施設調査票 (別紙)

平成 17 年度厚生科学研究 「精神科訪問看護における介入技術の明確化および評価に関する研究—精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務—」 主任研究者 萱間 真美

施設調査票

■ 貴施設について、お尋ねします。

・ 貴施設の種別は以下のどれですか。該当する数字をお書き下さい。()

- ① 訪問看護ステーション
- ② 病院付設の訪問看護部門
- ③ その他 ()

・ 訪問しているスタッフの職種と人数をお書き下さい。

- ① 看護師 常勤 () 人 非常勤 () 人
- ② 精神保健福祉士 常勤 () 人 非常勤 () 人
- ③ その他 () 常勤 () 人 非常勤 () 人

・ 現在、訪問看護利用者は何人いらっしゃいますか? () 人

・ そのうち、精神科訪問看護利用者は何人いらっしゃいますか? () 人

・ 一日の平均訪問件数はスタッフ一人当たり何件ですか? () 件

・ そのうち、精神科訪問看護はスタッフ一人当たり一日何件ですか? () 件

・ 精神科訪問看護についてお尋ねします。

看護計画の見直しの頻度はどれくらいですか? () に一回

ご協力ありがとうございました。

〔付録 3〕

平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金
医療技術評価総合研究事業
精神科看護における介入技術の明確化および評価に関する研究
—精神科訪問看護と急性期病棟における看護業務—

訪問看護の焦点ごとの

ケア領域・ケアコンテンツ・データ一覧

付録 3 - 1. 日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大

付録 3 - 2. 対人関係の維持・構築

付録 3 - 3. 家族関係の調整

付録 3 - 4. 精神症状の悪化や増悪を防ぐ

付録 3 - 5. 身体症状の発症や進行を防ぐ

付録 3 - 6. ケアの連携

付録 3 - 7. 社会資源の活用

付録 3 - 8. 対象者のエンパワーメント

付録3-1：日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大

定義：生活技能についてモニタリングし、さらに維持・向上を図るための援助。食生活、生活リズム、活動、住環境、整容、整容、金銭管理、安全確保への援助を含む。家庭内役割を担うことが期待される人には、家庭内役割についての援助を含む。

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
食生活	モニタリング	
	食事の状況について尋ねる	
	食事の内容について尋ねる	・何食べたか聞く
	食欲の程度について尋ねる	
	調理行動を観察する	
	買置き食品の種類を観察する	・台所にお菓子があることを見る
	買置き食品の賞味期限を確認する	・冷蔵庫内を掃除しながら冷蔵庫内の食品の賞味期限を確認する
	調理行動について肯定的に評価する	・出してくれた食品に対して「おいしいね」「家庭的ね」とほめる
	食事の内容について肯定的に評価する	・「そのお赤飯はどうやって炊いたの？」と聞いて自信をもたせる
	食事の内容について助言・指導する	・現在の食事内容について、それなら大丈夫だろうと返答する ・スーパーのお惣菜を活用するように勧める
生活リズム	モニタリング	
	起床時間を観察する	・訪問時に起床していたことを確認する
	生活スケジュールについて尋ねる	
	睡眠の状況について尋ねる	・「睡眠はどうか？」と聞く
維持・向上への援助	夜間睡眠を保持する方法について助言・指導する	・寝る前にコーヒーを飲むのは控えるよう伝える ・「昼間は起きていないとまずい」という話をする
	睡眠薬は寝る前に服用するよう勧める	・睡眠薬は寝る前に服用するよう勧める

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
活動	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ どれぐらい支援センターに行っているか聞く
	維持・向上への援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縫った袋を見せてもらい「どうやって縫ったの?」と聞き「上手ね」「えらいわね」と、できるだけほめる
住環境	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯機へ入れるところまで確認する、洗濯をしているところを見る ・ 入室前に洗濯物が干してあるか見る ・ トイレを借りながら、台所・風呂・トイレを一周見る ・ 室内外のゴミの散乱状況を見る、不潔でないか見る ・ 部屋の散らかり具合を過去の部屋の状況と比べながら見る ・ 衣類の片付け方を見る
	維持・向上への援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ タオルやマットが声かけなく洗えていたり変えてあった時のポジティブフィードバックで自信をもってもらう ・ 洗濯を一緒に行う ・ 洗濯物を看護師が取りこみ利用者にたたんでもらう ・ 洗面器に洗剤を溶かしたお湯を作る ・ ヘルパー訪問時に洗濯するよう母親に伝える
	洗濯について肯定的に評価する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちゃんとゴミ分けるようになりましたね」と言う ・ 「何かゴミ分けて困ったことはありませんか?」と聞く ・ ゴミ放置による不利益について伝える
	洗濯について助言・指導する	
	洗濯について肯定的に評価する	
	洗濯について助言・指導する	

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
住環境 維持・向上への援助 (続き)	掃除について肯定的に評価する	・「片付いてますね、いつも」と言う
	掃除について助言・指導する	・ シーツ交換を一緒に行う ・ 訪問前の電話で本人ができる掃除行動について「訪問までにしていてくれると助かります」と伝える ・ 掃除場所に合った効果的な洗剤の選択、掃除道具の選択を指導する ・ 掃除場所による掃除頻度を相談する ・ 今後も自分で継続できるように生活に即した掃除方法を相談する ・ 掃除のチェックシートにコメントする ・ タバコの煙が充満している部屋の窓を開け換気を行う
整容 モニタリング	整理整頓について助言・指導する	・ 季節毎の衣類の収納整理やセッティングなど具体的に介入する
	生活用品の購入について助言・指導する	・ 代えのシーツを購入するという宿題を出しておく
維持・向上への援助	身体保清の状況について尋ねる	・ 「最近入浴の方はどうですか?」と聞く
	服装を観察する	
	身体保清について肯定的に評価する	・ 「以前と比べてだいぶお風呂行かれてますね」と言う
	身体保清について助言・指導する	・ 洗髪方法を指導する、洗顔時に一緒に数を数える ・ 「そろそろ床屋へ行ったらどうですか?」と勧める
	適切な衣類選択について助言・指導する	・ 衣類の話をする、薄着のためもう一枚着るように勧める

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
金銭管理	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい物品に注意し、支払能力にそのものをアセスメントする ・購入の頻度に対するアセスメントをする
維持・向上への援助	家計簿作成について助言・指導する 来月の予算立てについて助言・指導する 節約方法について助言・指導する 収支バランスの維持について助言・指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・一ヶ月のレシートや明細書を出費ごとに計算するのを援助する ・食費や夫の小遣いなど具体的に来月の生活費の予算を共に考える ・ATM手数料を節約するようアドバイスする ・収支バランスを一緒に確認する ・嗜好品代のやりくりについて話す ・経済問題について話す
安全確保	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・コンロのガスや風呂の火種を確認する ・灰皿を見る
維持・向上への援助	火気扱いについて助言・指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・風呂が空焚きにならないよう足し湯を促す ・灰皿から煙が上がっている時は危ないですよと水をかける
	運転について助言・指導する	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスがかからない状況での運転を促し同乗する母親へも説明し注意を喚起する ・慎重に自転車を運転するよう促す
家庭内役割	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・万一の時のために携帯電話を持つように勧める
	家庭内役割をどの程度果せているかについて尋ねる	
維持・向上への援助	家庭内役割について肯定的に評価する	
	家庭内役割について助言・指導する	

付録3-2：対人関係の維持・構築

定義：訪問看護師との関係性の維持・構築を基盤として、家族以外の周囲の人々との関係性を維持・構築するための援助。本人の対処能力の向上への働きかけを含む。

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
コミュニケーション能力の維持向上への援助	<p>会話のスピードを観察する</p> <p>まとまりのある会話ができるかを観察する</p> <p>質問に対する返答の正確さを観察する</p> <p>自分の気持ちの表出を促す</p> <p>次回訪問日までの課題を共有する</p> <p>コミュニケーションの見本を提示する</p> <p>利用者の話を理解したことを伝える</p>	<p>・会話の流暢さ、時間を観察する</p> <p>・話が行ったり来たりしていないか、まとまっているかを観察する</p> <p>・質問にきちんと答えてくれるかを観察する</p> <p>・自分の気持ちの表出を促す</p> <p>・次回訪問日までの課題を共有する</p> <p>・コミュニケーションの見本を提示する</p> <p>・同じ話を繰り返す利用者に対し、何度も話していることをフィードバックし、気付いてもらう</p>
近隣住民との関係性への援助	<p>不適切な対人批判を指摘する</p> <p>挨拶や時事等の日常会話を交わす</p> <p>生活者の視点で接する</p> <p>話しやすい雰囲気を作る</p> <p>近所づきあいについて聞く</p> <p>近隣との接し方についてロールプレイをする</p> <p>近隣の住民からの苦情を把握する</p> <p>大家との付き合い方をアドバイスする</p>	<p>・他の人への批判が間違っているときは、助言・注意する。</p> <p>・天気やテレビ番組などの日常会話を交わす</p> <p>・生活者の視点で接する</p> <p>・話しやすい雰囲気を作る</p> <p>・近所の方とお話しているか尋ねる</p> <p>・スーパーの安売りの情報など、看護師が主婦役割を引き受け、日常的な主婦同士の会話をする</p> <p>・近隣の住民から利用者に対する苦情を聞く</p> <p>・大家に連絡すべき換気扇の故障の程度をアドバイスする</p>

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
当事者同士の関係性への援助	<p>当事者同士の会話の内容を聞く</p> <p>当事者関係における悩みを聞く</p> <p>グループホーム入居者に対する不満を 傾聴する</p> <p>当事者関係における悩みの解決策を 一緒に考える</p>	<p>・作業所の仲間とどのようなお話をしたか聞く</p> <p>・当事者関係における悩みを聞く</p> <p>・グループホーム入居者に対する再三の不満の訴えを「うん、うん」とうなずきながら聞く。</p> <p>・支援センター内での対人関係の悩みについて、職員にどのように相談したらいいか一緒に考える。</p>
異性関係への援助	<p>異性関係について聞く</p> <p>異性との問題を自分で解決するよう促す</p>	<p>・恋人との付き合いについて聞く</p> <p>・恋人との問題について、自分で解決するよう促す</p>
初対面の人との関わりへの援助	<p>初対面の人への話し方・表情を観察する</p> <p>他者との関わりを勧めめる</p>	<p>・恋人との問題について、利用者自身が対処できるよう支持的に関わる</p> <p>・同行した看護学生に対する利用者の反応を表情から観察する</p> <p>・多くの人と関わることを勧めめる</p>
他の医療・福祉スタッフとの関係性への援助	<p>他の援助機関の職員との交流を勧めめる</p> <p>医療・福祉への疑問および不満を傾聴する</p>	<p>・支援センターを利用する際、まず職員と話をすることを勧めめる</p> <p>・心電図検査を受けた際の不満について本人が話すのを聞く</p>

付録3-3：家族関係の調整

定義：本人と家族の関係性および、本人の家族内での役割についてアセスメントし、その調整や、家族員が抱えるストレスを緩和させる援助。本人や家族の対処能力向上への働きかけを含む。

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
家族関係のモニタリング・アセスメント	本人と家族の関係性をアセスメントする 本人や家族の気持ちを聞く 本人の気持ちを聞く 本人・家族・関係者から家族状況について話を聞く 家族状況についての話を整理する 家族状況の在宅状況を観察する 家族と本人の情報、今後の方針を共有する	本人と家族の関係性をアセスメントする ご主人との会話はどうか聞く 夫の態度や本人の気持ちを情報収集する 本人が無理をしていないか、話を聞く 関係者会議で家族・保健師・ケースワーカーの話を知る 家族がいるかどうかを質問する 関係者から聞いた家族状況についての話を整理する 家族が在室かどうかを推察する 毎回の母親のお見送りのときに情報交換しケースに対する今後への期待、方針を共有する
本人と家族の関係性の維持・向上への援助	他の家族員にも相談するように助言する 家族と本人の緊張を緩和する 家族の前で、本人が気持ちを表出できるような場を設ける 本人が気持ちを表出できるよう、家族に待つように伝える 本人の気持ちを聞く 家族員それぞれの思いを傾聴する 訪問看護師が入ることで、話しやすい場を作る	（困りごとについて）他の家族員にも相談するように助言する 本人の話を父親が遮ってしまうので、悩んでいるのは本人には色々は思いがあるから話をさせてくださいと父親と利用者との間の緊張を下げ、利用者が悩みを言語表出する場を調整する 本人の話を父親が遮ってしまうので、悩んでいるのは本人には色々は思いがあるから話をさせてくださいと父親と利用者との間の緊張を下げ、利用者が悩みを言語表出する場を調整する 本人が考える時間をもてるように、家族に待つてもらおう 家族の気持ちも聞きながら、本人がどうしたいかを聞く それぞれの対応について傾聴し共に考え安心を提供する、謝りたい気持ちを引き出すなど情報を補い合い対応する 二人だけだといいにくいこともあるが看護師が入ることで双方感情を出し合える場づくりを行う。

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
本人と家族の関係性の維持・向上への援助（続き）	<p>訪問看護師が入ることで、家族が共に楽しい時間を過ごす</p> <p>本人の気持ちを家族に代弁する</p> <p>家族の気持ちを本人に代弁する</p>	<p>本人と家族が楽しく会話できる時間・一緒に笑える時間を提供する（第三者が入ることで）</p> <p>本人はまだ悩んでいるということを家族に伝える</p> <p>家族が心配するのは当たり前の感情であるということをも本人に伝える</p>
家族とのつきあいに對する本人の対処能力の維持・向上への援助	<p>家族への不満を傾聴する</p> <p>本人から、家族に関する話を聞く</p> <p>他の家族員にも相談するように助言する</p>	<p>困りごと（家族への不満；お金の使い込み）を傾聴する</p> <p>家庭の状況をよく知り、日常的な愚痴も聞く</p> <p>結婚している娘さんに電話して、「（電話を）よこすな」と言われ、怒られたという話を聞く</p> <p>本人が無理していないか話を聞き、ストレスを緩和する</p> <p>（困りごとについて）他の家族員にも相談するように助言する</p>
本人とのつきあいに對する家族の対処能力の維持・向上への援助	<p>訪問看護の役割と方針を説明する</p> <p>家族も専門的支援を利用できることを保障する</p> <p>本人の自立を促す支援の必要性を家族に伝える</p> <p>本人の自立を促す支援の具体例を家族に紹介する</p>	<p>ご主人の面会に行つて「また嫌み言つてきちゃつた」と言つたので、「そんなこと言つちやいなわよ」と注意した</p> <p>夫との会話で評価が低いとき→掃除しているのに「汚れたこと」しか指摘しないことに対してきれいな時があつたから汚れたのがわかるのでは？という発想の転換を示す</p> <p>訪問看護の役割と方針について、具体的に説明する</p> <p>家族も、専門的支援を利用できることを保障する</p> <p>家族以外の専門的な支援を受けながら自立している他事例を例に出して話す</p> <p>専門的支援を利用してよいことを伝える</p> <p>家族代行ではなく、本人の自立を促す支援の必要性について家族に説明する</p> <p>家族に服薬カレンダーなどを紹介する</p>

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
本人とのつきあいに對する家族の対処能力の維持・向上への援助(続き)	<p>家族の苦勞をねぎらう</p> <p>家族が抱え込まなくてよいことを伝える</p> <p>家族の話聞く</p> <p>家族の愚痴を聞く</p> <p>家族の心配事ごとを聞く</p> <p>心配しすぎなくて良いことを伝える</p> <p>本人の反応を待つよう、家族に伝える</p>	<p>・これまでの家族のサポートについてねぎらう</p> <p>・家族が抱え込まなくてよいことを伝える</p> <p>・家族の話聞く</p> <p>・家族の愚痴を聞く</p> <p>・家族が心配に思っていることを聞く</p> <p>・本人の生活について心配しすぎなくても良いことを家族に伝える</p> <p>・本人の話を父親が遮ってしまうので、悩んでいるのは本人には色々は思いがあるから話をさせてくださいと父親と利用者との間の緊張を下げ、利用者が悩みを言語表出する場を調整する。</p> <p>・本人が考える時間をもてるように(答えを急いでしまう) 家族に待つてもらおう</p> <p>・家族に本人を責めないように伝える</p> <p>・子育てに對する本人の氣持ちの変化を捉える</p> <p>・子育てに對する本人の喜びを共有し、相談にのる</p> <p>・息子さんが帰ってきた時は一緒に話す機会を持ち、母親としてのケースの役割遂行に關する観察と息子の観察</p>
本人の家族内役割遂行の維持・向上への援助	<p>本人を責めないよう、家族に伝える</p> <p>子育てに對する本人の氣持ちをアセスメントする</p> <p>子育てに對する本人の前向きな氣持ちを支える</p> <p>家族内役割(母親役割)の遂行状況を観察する</p>	<p>・家族に本人を責めないように伝える</p> <p>・子育てに對する本人の氣持ちの変化を捉える</p> <p>・子育てに對する本人の喜びを共有し、相談にのる</p> <p>・息子さんが帰ってきた時は一緒に話す機会を持ち、母親としてのケースの役割遂行に關する観察と息子の観察</p>

付録3-4：精神症状の悪化や増悪を防ぐ

定義：幻覚・妄想・不安などによって、日常生活が支配されることがないよう、現実感覚を保つための援助や、ストレスを緩和するための援助。服薬通院のための援助、本人の対処能力の向上への働きかけを含む。

ケアの領域	ケアコンテンツ	データ
精神症状のモニタリング・アセスメント	精神症状に関して訪問前の情報収集する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前訪問時の精神状態（妄想・幻聴）を記録から確認 ・ 幻聴・妄想に関する訪問前の情報収集—精神症状を把握するため前訪問から当日まで事務所への電話回数を事前に確認
表情を観察する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の表情を観察する ・ 表情を見て、不調を判断する ・ 訪問時、初めて顔を見た瞬間、顔つきや表情から、その日の利用者の調子のアセスメントする ・ 顔を見たら、今日は動きそうにないというのがわかる
話し方を観察する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 声の調子を観察する
幻覚・妄想を観察する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夜間知らない人が来て頭を叩く」という話を聞く ・ 妄想の内容を傾聴—自分の妄想に対処出来ているかに注目して話を聞く
病状についての訴えを聞く		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幻聴の内容を確認する—物の紛失についての話を聞き、妄想なのかアセスメント
幻聴の内容を尋ねる		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幻聴の内容を観察し、症状をアセスメントする
確認癖、妄想、しつこさなどを観察する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認癖、妄想、しつこさなどを観察し、症状をアセスメントする
強迫観念・強迫行為を観察する	強迫観念・強迫行為を観察する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認癖、妄想、しつこさなどを観察し、症状をアセスメントする ・ 消すことへのこだわりの程度
不安を観察する	不安を観察する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不安になったら電話をしていくケースのため、訪問終了後からステーションに戻るまでに利用者から電話がなかったか確認
大まかな調子を観察する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大まかな調子を観察する
その他の精神症状を観察する	その他の精神症状を観察する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病状についての訴えを聞く ・ 勉強中の書くスピード、考える時間、間違えの頻度の観察から査定 ・ 妄想の内容を傾聴—自分の妄想に対処出来ているかに注目して話を聞く